

たまた暮らしセミナー

—東京が好き 自然が好き だから私は多摩に住む(後編)—

2023 **1/18** (水) 18:30~20:30
(受付 18:00~)

会場

ふるさと回帰支援センターセミナールームC・D
東京都千代田区有楽町2-10-1東京交通会館8階
(JR・東京メトロ 有楽町駅 徒歩3分)



会場定員

20名

※オンラインでも参加可

参加費

無料

申込締切

1/16(月)

東京23区の西側にあり、30市町村からなる多摩地域に実際に移住された方や、在住の方に出演いただき、子育てや環境など、実際に生活を通して感じている生の声をお届けします!

ファシリテーター

株式会社けやき出版 代表取締役 **小崎 奈央子**

1978年東京都国立市生まれ、国立育ち。立川のけやき出版にて書籍編集者、地域情報誌たまら・び編集長を経て2015年に4代目代表取締役社長に就任。経営と編集長を兼務しながら多摩エリアの情報発信を行う。



先輩移住者・在住者

原田 あやめさん

東大和市在住

大学進学と同時に熊本県から上京し、さらに結婚を機に東大和市に移住。
子育て中に市内を散策して感じた街の魅力を知ってもらいたいと思い、会社を設立。

櫻井 涼さん

東村山市在住

都心の会社の人事職で約20年間勤務。2021年より「あるがままわがままに生きよう がまま東村山」を掲げて地球の人事部として活動し、地域コミュニティ活性化に関わっている。

青木 悟さん

羽村市在住

幼少期に羽村市に来て、はむら暮らしは30年以上。
あまり知られていない、小さなまちですが、地域活動に関わりながら、色々な方とコミュニケーションを取るうちに、どんどん羽村市が好きになっています。

桑川 拓也さん

あきる野市在住

都心よりも人のつながりが濃いあきる野市に魅力を感じ、2016年に夫婦で移住。
武蔵増戸地区にアクセサリーショップを開店。

問合せ先

東京多摩島しょ移住定住相談窓口
TEL : 080-8719-4073
mail: tokyo-tama-shima@furusatokaiki.net

申込方法

事前申込制です。
1/16までにお申込みください⇒



たま暮らしセミナー 参加自治体

東大和市



Kotonohasha Co.,Ltd.

「都市と自然のいいとこどり」

東大和市は東京都の北多摩地域にあるまちです。新宿エリアへ約35分、立川エリアへ約10分という交通アクセスの利便性や買い物などの日常生活の利便性と、日本一美しい取水塔のある多摩湖や狭山丘陵を中心とした豊かな自然がある「都市の発展と多摩の自然」のバランスが良いまちであり、子育て世帯をはじめ幅広い世代にとって住み心地のよい定住に適した快適なまちです。

東村山市



市内には9つの駅があり、都心へも短時間でアクセス可能であるとともに、日常の買い物も市内で事足りる「住まう」に最適な生活都市です。加えて、市内には大規模な公園や自然もたっぷり。気軽に非日常も味わえます。

現在、市の玄関口である東村山駅では鉄道連続立体交差事業が進行中。新たな駅前広場や、ここで生まれる高架下空間の整備を通じて、まちの姿が大きく変わろうとしています。そのような中で大事にしていることはプレイスメイキング、つまり空間を居場所にすること。暮らす人たちがみちたりるまちへー。市民の皆さんとこのまちをたのしく、「たのしむらやま」な市です。

羽村市



東京の多摩西部に位置する羽村市は、都心からほど近く、自然にも恵まれた“東京のオアシス”。

面積は、9.90平方キロメートル。市の西から南へ多摩川が流れ、江戸時代に開削された玉川上水の取入口のあることで知られています。

人口は市部の中で最少の約5万4,000人ですが、合計特殊出生率は東京都の平均値より高いです。

車で10分以内のところに自然や施設、お店などがギュッと集まっています。そんなコンパクトな市の特性を生かし、きめこまやかな子育て支援サービスを行っています。

地下水100%のまろやかでおいしい水道水も魅力の一つです。

あきる野市



あきる野市は、都心から40~50キロメートル圏、約60分の位置にあります。

秋川と平井川の二つの川を軸として、比較的緩やかな秋川丘陵、草花丘陵に囲まれる平坦部と、奥多摩の山々に連なる山間部から形成されています。

都内でありながら、多くの動物や植物などが息づく自然が豊かなまちであり、このような環境の中でのびのびと生活することができます。